

北欧デザイン・北欧建築研究とその社会的展開



Keyword

北欧デザイン、北欧建築、モダニズム研究、
多層時間モデル、サステナビリティ

連絡先 デザイン学科 教授 川島 洋一
電話 0776-29-2467
E-mail kwsm@fukui-ut.ac.jp

実績 著書（TOTO 出版、学芸出版社ほか）、雑誌論説（新建築、CONFORT、住宅建築、
HOME ほか）、展覧会の企画・監修（松下電工汐留ミュージアム、京都・旭川・札幌巡回）、
テレビ番組監修（TBS 世界遺産ほか）、講演・シンポジウム、設計・デザイン作品ほか。



「アスプルンド」展 2006
松下電工汐留ミュージアム

1. 研究の目的

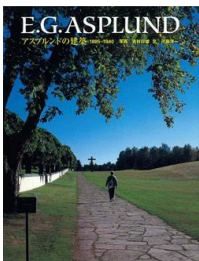
北欧に対する関心が高まっています。北欧社会は早い時期に成熟社会を迎えましたが、北の小国であるにもかかわらず困難な課題を克服し、サステナブルな社会を構築してきた貴重な先例として、参考にすべき英知の宝庫であるといえましょう。この研究は、近現代の北欧デザインと北欧建築を研究し、役立つ情報とわかりやすい説明によって、地域の文化と産業に資することを目的とします。ここでは産学連携や社会貢献を推進する立場から、専門的な学術研究だけでなく、多くの方に価値を提供できる方法をご提案します。

2. 新規性・独創性

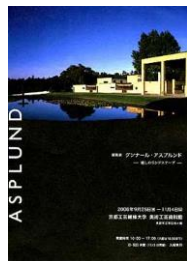
環境問題やエネルギー問題などの世界的な課題だけでなく、天然資源が乏しく、深刻な少子高齢化問題を抱えたわが国では、20 世紀型の工業社会から 21 世紀型の知識基盤社会への転換が急務といえるでしょう。こうした視点から北欧デザインに注目し、まずは多くの方が一緒に考えるための素材と機会を提供します。

3. 製品化や事業化のイメージ・方法

著書や雑誌論説、展覧会の企画やテレビ番組の監修、各種講演やシンポジウムなど、企画段階からご相談に乗り、効果的な方法のご提案をいたします。また、これらの事業の実施にあたり必要となる現地取材や情報収集、さらに企業イメージ向上をめざす設計やデザイン制作のご依頼にも応じます。北欧に関心を示すことが、企業や自治体のブランドイメージを高める結果につながるよう心がけます。



著書『アスプルンドの建築』
TOTO 出版 2005 年



川島監修「建築家アスプルンド展」2006 年
（東京・京都・旭川・札幌）
京都展フライヤー（デザインも川島）



川島設計「カフェ・ブライズ」京都・北山 2002 年
インテリアデザイン・店舗コンセプトの総合プロデュース



《 共同研究の相手となる業界等 》 出版業・情報サービス業・デザイン業・建設業・学術研究機関など
《 参考文献 》 川島洋一（文）吉村行雄（写真）『アスプルンドの建築』TOTO 出版、2005 年ほか